



モーリーとリンリン®

CAMPUS MAGAZINE

2023
vol. 51



学長 吉池 信男

学長あいさつ

この冊子を手にとってくださった皆さま、是非ページを開いて私どもの大学の「データとリアル」をご覧ください。入学生、在校生、卒業生、大学院進学者のリアルな声と様々なデータを知ることができます。

縁あってこのキャンパスに集う学生の皆さんが、しっかり学び、立派に専門職として巣立つことができるよう、後援会からのご支援をいただきながら、教職員一同日々努力しています。大学祭などの機会に是非ともキャンパスまで足をお運びください。また、「インスタフォロー」もよろしくお願ひします。

大学祭のお知らせ 10/7(土)・8(日)

大学祭実行委員長 看護学科3年 中島 雅さん

こんにちは。令和5年度、青森県立保健大学の大学祭実行委員長に任命されました看護学科3年の中島雅です。この場を借りて、10月7日・8日に行われる大学祭の目玉企画、そして意気込みを伝えさせていただきます。

今年の大学祭の目玉企画は、お笑い芸人の「ママタルト」さんのスペシャルステージです。一昨年と昨年は、新型コロナウイルスの影響により、お笑い芸人さんなど外部から招くことが出来ませんでした。しかし、今年は「ママタルト」さんのステージにより、さらに盛り上がる大学祭になると思います。

加えて、去年大盛り上がりを見せた大学祭夜祭でのピンゴ大会を今年も行います。去年はiPadや美顔器などの景品がありました。今年も皆さんの要望を伺い、豪華景品を用意しています。今年の夜祭もお楽しみに！

新型コロナウイルスが5類に移行し、できることが増え、【楽しむ】の形もコロナ前のようになりつつあります。今回の大学祭が本学の学生、また地域の方々に安全かつ思い切り楽しんでいただけるよう、大学祭実行委員会、大学祭に関わるすべての人たちで思い出に残るものを作り上げていけるよう準備して参る所存です。当日はぜひ足を運んでいただけると幸いです。



保護者等懇談会のお知らせ 10/7(土)

在学生の保護者等の皆様を対象とした懇談会を開催いたします。皆様のご参加、お待ちしております。

- 日時：令和5年10月7日(土) 10時30分から11時50分まで
- 場所：青森県立保健大学 教育研究B棟2階
B209 演習室(看護学科)、B201 会議室(理学療法学科)
B203 会議室(社会福祉学科)、B202 会議室(栄養学科)
- 内容：10:30～ 後援会長あいさつ、学生部長からの情報提供
10:45～ 学科長からの説明
(実習支援、講義の状況、就職・国家試験)
10:50～ 担当教員による個別面談(事前申込制)
※申込みは締め切りました。
- 上記会場をご自由に出入りいただけます。
他の企画等も楽しんでいただければと思います。
当日は大学祭を開催しています。

どうぞお越しください!!

御寄附のお願い

本学の歴史は、同時に皆様方の暖かいご支援の歴史でもあります。本学では、2種類の基金を設置しております。今後とも皆さまの暖かいご支援をよろしくお願ひいたします。

■一般基金

教育・研究・地域貢献活動、学生活動・学生生活の支援、施設・設備・環境の整備のために活用させていただきます。用途を指定することもできます。

■特定プロジェクトを支援(特定基金)

●青森から繋げるアジアで活躍する栄養の若手人材育成のための教育・学術国際交流活動基金(EYNAプロジェクト)

本学栄養学科の学生及び本学大学院生、栄養学を学ぶ東南アジアの外国人留学生などの教育・学術交流活動を支援し、若手人材の育成に役立てることを目的とした基金です。今年6月、ベトナムから栄養の専門家が青森を訪れるのに合わせて、本学と連携協定を締結している大学の教員・ベトナム人留学生と本学学生との交流会を計画・実施しましたが、基金の一部はその際の招聘等にかかる費用に使用させていただきました。



御寄付はこちらから

公式Instagramのフォローのお願い

本学公式Instagramには、保健大学のリアルな日常(イベント、授業風景、学生生活等)について、写真とともに毎日投稿(土日祝除く)を心がけて発信しております。ぜひ、フォローしていただき、本学の日常を垣間見ていただければ幸いです。



Instagramはこちらから

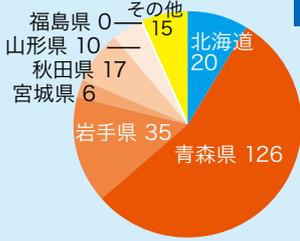
大学ホームページには、本学の各種情報を日々発信しておりますので、ぜひご覧ください。



ホームページはこちらから

青森県立保健大学の

令和5年度入学者数(229名)



新入生への歓迎の言葉 社会福祉学科3年 中田 満由さん



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。長い受験生活が終わり、いよいよ期待に膨らむキャンパスライフが始まります。皆さんは今、新しい生活をスタートさせ、期待と不安を抱えながら新鮮な毎日をお過ごしているのではないのでしょうか。

さて、大学4年間という長い時間は皆さんに平等に与えられたものであり、何をするか、何に時間を使うかは自由なのです。長いようで短いこの4年間、自分のやりたいことや夢を見つけ、失敗を恐れず、何事にもチャレンジしていくことが大切です。これからの生活を通じて得る経験や知識は、将来に向けた自分への財産となり、人生の宝物となると思います。人生の中のたった4年という時間を有意義に過ごせるよう、心より願っています。

新入生メッセージ



看護学科 井上 莉緒さん (青森県出身)

受験では特に英語に力を入れ、無事に地域定着枠で入学できました。入学後は同じ目標を持つ地域定着枠の仲間と一緒に日々勉強に励み充実した大学生活を送っています。高校生の頃に描いていた楽しいキャンパスライフを実現することができています。



理学療法学科 國仙 凌真さん (北海道出身)

少しずつ環境の違いや方言に慣れてきたところです。大学生活は新たな発見も多く、刺激の多い毎日です。授業は新しく学ぶ専門的なことが多く、仲間と協力して学びを深めています。今後はもっと交流の幅を広げ、充実した大学生活を送るつもりです。



社会福祉学科 白取 野乃花さん (青森県出身)

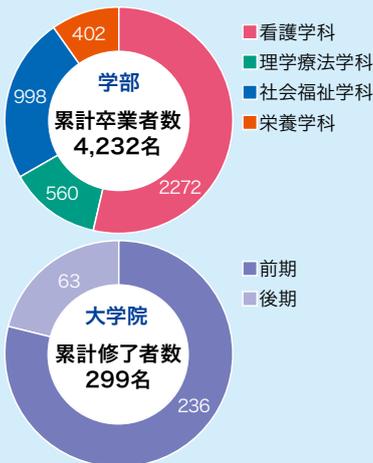
大学入学にあたって学習面での不安が大きかったのですが、学習意欲の高い友人や個性豊かで親切な先生方との出会いもあり、専門科目の勉強にも意欲的に取り組んでいます。悩んだり不安になったりしても、大学に行くこと仲のいい友人もいるため毎日が楽しいです。



栄養学科 溝江 爽加さん (青森県出身)

一般入試前期日程で合格しました。平日は生化学や食品学総論などを学んで充実した学校生活を送っています。また、休日は友達の家にお泊りしたり、アルバイトをしたりしています。大学は高校よりも自由でとても楽しいです。

累計卒業生・修了者数



本学大学院への進学者数 (過去5年間)



ストレート進学者メッセージ 理学療法学科 金澤 遼太さん



大学卒業後にそのまま大学院進学と就職を同時に行いました。奨学金制度や授業料減免制度、土日開講やオンデマンド等学習環境が整っています。臨床と研究の二足の草鞋に多忙な日々ですが、これまで学部で教わってきた先生方や同じようにストレート進学した諸先輩方が親身に相談に乗ってくださるため、不安も少なく、最良の環境と感じています。

担当教員 理学療法学科 教授 川口 徹



学部生が教員・大学院生とともに研究し、学び合う機会を多く創出しています。また、進学を志す学部生には早い段階から、教員・大学院生が親身なサポートをしています。例えば、身近で行われる学術大会には大学院生だけではなく学部生と一緒に参加したり、興味のあるテーマを扱っている大学院のゼミを在学中に自由に見学することもできます。理学療法学科では、学部生の研究や進学に対する意欲を醸成するような環境が構築されています。

学部卒業生の就職率

令和4年度学部卒業生の就職率
(令和5年5月1日現在)



就職相談嘱託員 櫻田 とき子

キャリア開発センターでは、自身でキャリアをデザインし、自分らしく活躍できる場を選ぶためのサポートをしています。

一人ひとりの疑問や不安に、教員や就職相談員が親身に対応し、就職活動へのモチベーションを支えます。また、いつ、どこでも求人情報や就活体験記にアクセスできるよう、独自の支援サイトを運用しています。その他、セミナー等各種行事や、オンライン面接等に対応した個別ブースの環境を整えるなど、きめ細やかに学生をバックアップしています。

卒業生メッセージ (就職1年目)



看護学科 小林 梨乃さん (青森県立中央病院 看護師)

私は青森県立中央病院NICUに勤務し、NICUに入院している新生児のケアや毎日の業務について先輩方からご指導を頂きながら日々勉強しています。学生時代に学んだ患児やその家族に寄り添うことを大切にしながら働いています。在学中は勉強や実習など大変だと思いますが、目標に向かって無理せず頑張ってください！



理学療法学科 三浦 瑞希さん (青森敬仁会病院 理学療法士)

私は現在、青森敬仁会病院に勤務しています。実際に勤めてみて、教科書通りの疾患の方はおらず、その方に沿った治療プログラムを立案することに苦戦していますが、先輩方からのご指導や、自己学習に励みながら、患者様により良い理学療法を提供できるよう努力しております。学生時代という貴重な時間を無駄にしないよう全力で楽しみながら、勉学にも全力で取り組み、患者様に寄り添えるような理学療法士になれるよう、共に頑張りましょう。



社会福祉学科 納谷 星澄菜さん

(社会福祉法人 北秋田市社会福祉協議会 サポートハウスたかのす指定通所介護事業所 生活相談員)
デイサービスの生活相談員として、利用者の方々ご家族とのやりとり、入浴介助、他事業所との連絡調整等、様々な業務を行っています。慣れないことばかりで大変な時もありますが、大学時代の友達と連絡を取り合うことで良い息遣いになっています。離れた場所でも共に頑張る仲間がいることを忘れず、これからも何事にも挑戦し、成長していきたいです。

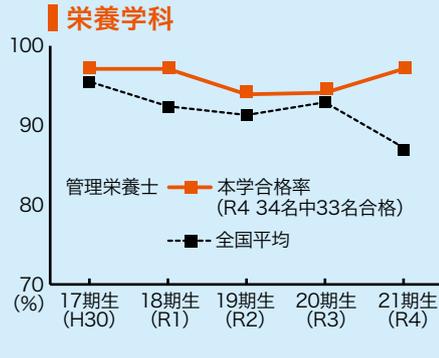
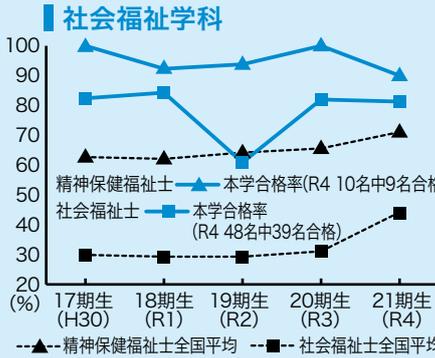
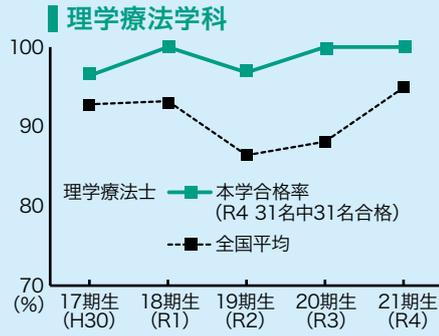
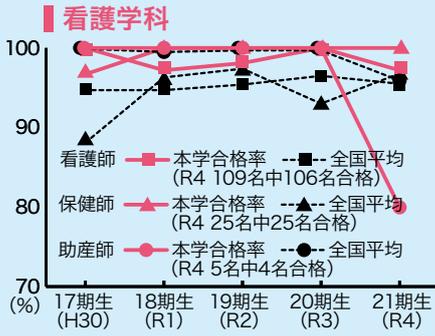


栄養学科 中川 愛海さん (上北地域民局 地域健康福祉部 保健総室 生活衛生課 管理栄養士)

私は保健所で管理栄養士として働いています。管轄内の飲食店事業者の方を対象に食品衛生の指導を行ったり、大量調理施設の食品衛生に関する監視指導を行っています。食中毒や食品の苦情の電話対応など緊急を要する対応もあり大変ですが、県民の方々に安心・安全な食を届けるお手伝いをする事ができるこの仕事にやりがいを感じています。保健大学に入学して本当に良かったです。



国家試験合格率



学科ごとの国家試験対策の取組内容

看護学科

低学年から国家試験を意識できるよう、過去問題を盛り込んだり、受験対策ガイダンスを実施しています。学生が組織する国家試験対策委員会をサポートし、模擬試験や補講、学習相談会の実施、学習環境の整備などを行っています。

理学療法学科

全学生に対してそれぞれ教員が担当し、学習の進捗状況や模擬試験の結果を確認し、細やかにサポートしています。また、模試や国試の過去問と解説が確認できるスマートフォンアプリを早い段階で登録させ、場所を問わず、わずかな時間でも有効利用し、復習が容易になるようにしています。

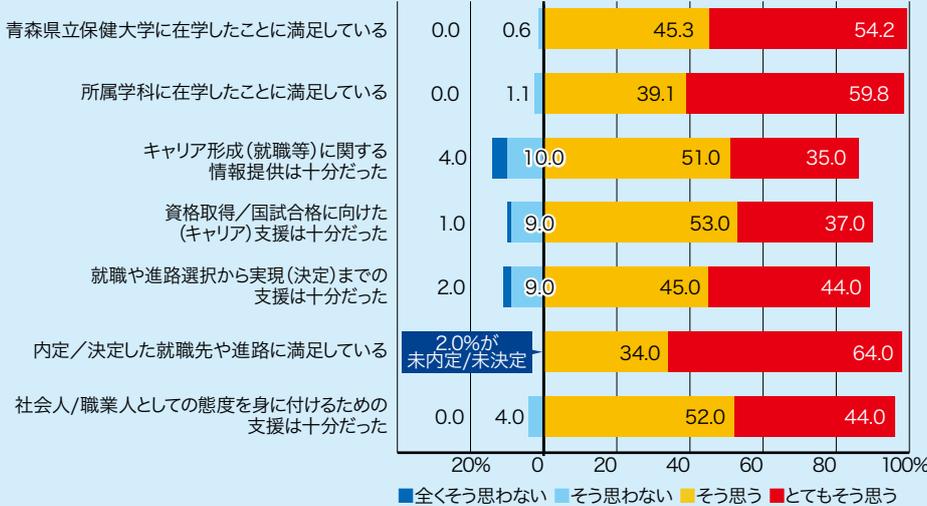
社会福祉学科

自習室に参考書を配置し、学生が勉強しやすい環境を整えています。また、卒業生による受験体験報告を実施し、受験の動機付けを高める他、模擬試験受験を推奨し、その結果を基に苦手科目克服を目指した受験対策講座を行っています。

栄養学科

近年の管理栄養士国家試験の出題傾向を分析して授業をアップデートしています。4年次4月に各ゼミから「国試対策メンバー」を選出し、国試対策教員とゼミ担当教員が協同してサポートしながら、学生主体で国家試験対策を進めています。

学部卒業生の満足度 (令和4年度卒業生)



学生部長メッセージ 児玉 寛子



「卒業時満足度調査」の結果がまとまりました(回収率78.9%)。全般において肯定的な評価を得ることができ、特に本学に在学したことについては99.5%が「満足している」と回答していました。

また今回の卒業生は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた学年でしたが、本学の感染症対策に対しても「対応は適切だった」「情報提供は十分だった」という回答が9割を占めました。

これらの結果を卒業生からの貴重なメッセージとして受け止め、今後の大学運営に活かしてまいります。

在学生メッセージ



看護学科 4年 村井 亜美佳さん

私たちは入学時から新型コロナウイルス感染症が流行していましたが、実習をすることができました。実習では多くの知識を身につけることができるため、実習ができるように対応してもらえたことにとても満足しています。また、チューター制度があり、安心して学生生活を送ることができています。



理学療法学科 4年 鈴木 律杜さん

理学療法学科4年生は卒業研究や就職活動で忙しい時期ですが、国家試験に向けて隙間時間にアプリの活用や研究のメンバーと問題を出し合うなど工夫して勉強に励んでいます。まずは11月の模試で力を発揮できるように頑張ります。



社会福祉学科 4年 渡部 真吾さん

4年生になって初めてねぶた祭で跳ねました。翌日、経験をしたことのないくらいの筋肉痛でした。精神保健福祉士の実習が9月まであり、卒論と同時進行ですが精一杯やり切りたいです。残りの大学生活、悔いの残らないよう、一日一日を大切に過ごしていきたいと思います。



栄養学科 3年 羽深 美智子さん

栄養学科は比較的少人数のクラスであるため、学生同士、また先生方ともとても仲が良く、楽しく毎日を過ごしています。友達可愛い子ばかりで惚れ惚れする毎日です！実験・実習・各講義、1人では悩むこともありませんが、互いに支え合い、助け合い、導き合って各々が成長できています。毎日が充実していてとっても楽しいです！

後援会からのお知らせ



後援会会長
太田 幸夫

後援会会員の皆様には、ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、後援会では、新入生研修や学生の福利厚生、大学祭、サークルなどの活動および卒業研究への助成等、大学に入学してから卒業するまでのさまざまな場面で学生に対する支援を行うことを使命としております。

特に令和4年度におきましては、新型コロナウイルス感染症の検査費用の助成、国家試験対策費用の助成など、学生への支援を適時適切に行うことができたと考えております。

また、学生生活がより健やかなものになるよう、学生センター「モーリーズルーム」に電子レンジ、湯沸かしポットを寄贈いたしました。

後援会では、会員の皆様のご理解とご協力のもと、これからも学生を全面的に支援し、成長を温かく見守っていきたくと考えております。

今後ともよろしくご厚意申し上げます。

令和5年度青森県立保健大学後援会役員

役職名	役員氏名	学科	学年
会長	太田 幸夫	理学療法学科	4年
副会長 (理事)	長内 美保子	社会福祉学科	3年
	福士 達也	理学療法学科	2年
理事	佐藤 光恵	看護学科	4年
	角田 睦子	栄養学科	3年
	高坂 義人	理学療法学科	3年
	大友 夏美	社会福祉学科	2年
	齊藤 久美	栄養学科	2年
監事	高松 誠	看護学科	4年
	小田桐 芳江	看護学科	2年
顧問	児玉 寛子		

後援会 決算、予算

令和4年度 後援会決算書				令和5年度 後援会予算書			
(収入の部)				(収入の部)			
項目	4年度予算(A)	4年度決算(B)	比較(B-A)	項目	4年度予算(A)	5年度予算(B)	比較(B-A)
1 会費収入	11,915,000	11,725,000	△ 190,000	1 会費収入	11,915,000	11,985,000	70,000
2 前年度からの繰越金	31,926,683	31,926,683	0	2 前年度からの繰越金	31,926,683	35,943,141	4,016,458
3 雑収入	208	879,423	879,215	3 雑収入	208	149	△ 59
合計	43,841,891	44,531,106	689,215	合計	43,841,891	47,928,290	4,086,399
(支出の部)				(支出の部)			
項目	4年度予算(C)	4年度決算(D)	比較(D-C)	項目	4年度予算(C)	5年度予算(D)	比較(D-C)
1 会議費	15,000	3,190	△ 11,810	1 会議費	15,000	23,000	8,000
2 事務費	300,000	142,316	△ 157,684	2 事務費	300,000	300,000	0
3 事業費	11,548,000	8,405,631	△ 3,142,369	3 事業費	11,548,000	12,555,000	1,007,000
(1)サークル活動助成費	1,833,000	1,058,452	△ 774,548	(1)サークル活動助成費	1,833,000	1,810,000	△ 23,000
(2)大学祭等助成費	1,400,000	1,111,886	△ 288,114	(2)大学祭等助成費	1,400,000	1,400,000	0
(3)会報誌作成費	250,000	233,499	△ 16,501	(3)会報誌作成費	250,000	250,000	0
(4)学生福利厚生費	3,800,000	2,368,884	△ 1,431,116	(4)学生福利厚生費	3,800,000	4,750,000	950,000
(5)卒業関係・ 国家試験対策関係 助成費	3,780,000	3,340,360	△ 439,640	(5)卒業関係・ 国家試験対策関係 助成費	3,780,000	3,781,000	1,000
(6)新入生研修費	450,000	292,550	△ 157,450	(6)新入生研修費	450,000	480,000	30,000
(7)その他	35,000	0	△ 35,000	(7)その他	35,000	84,000	49,000
4 予備費	52,000	36,828	△ 15,172	4 予備費	52,000	52,000	0
小計	11,915,000	8,587,965	△ 3,327,035	小計	11,915,000	12,930,000	1,015,000
5 次年度以降事業費	31,926,891	35,943,141	△ 4,016,250	5 次年度以降事業費	31,926,891	34,998,290	3,071,399
合計	43,841,891	44,531,106	△ 689,215	合計	43,841,891	47,928,290	4,086,399

※次年度への繰越金 35,943,141円 (総収入 44,531,106円 - 総支出 8,587,965円)

大学から後援会へ 教務学生課長 谷地 博和

後援会におかれましては、大学の事業を援助し、教育の振興に資することを目的として、学生の福利厚生の充実や課外活動における費用の助成など、多岐にわたる積極的な御支援を賜っているところです。

特に昨今のコロナ禍においては、実習先から求められた学生

の検査費用への助成について機敏かつ柔軟に御対応いただきました。厚く感謝申し上げます。

今後も後援会と大学が密に連携し、学生生活全般にわたる支援をしていきたいと考えております。引き続きよろしくご厚意いたします。

発行：青森県立保健大学 広報委員会・青森県立保健大学 後援会



〒030-8505

青森県青森市大字浜館字間瀬 58-1 電話 017-765-2000(代表)・FAX 017-765-2188 URL <https://www.auhw.ac.jp/>